

**地域の経済動向（令和3年4～6月期）**  
《十勝地域》

**1 経済動向に係る企業等の声（4～6月期）**

**【建設業】**

- ・今後、更に資材の高騰が予想され、非常に心配な状況。（建築工事業（木造建築工事業を除く））
- ・新型コロナの影響により失業率が高まっている一方で、工事現場で働くスタッフ（土工、オペレーター、警備員）への応募はほとんどない状態。（土木工事業（舗装工事業を除く））
- ・コロナの影響で職員の給料や材料費などの支払いだけで精一杯の状況が続いており、金融機関から受けている貸付の償還もままならなくなっている。（建設業）
- ・往年より「人手不足」が課題としてあった建設業界において、近年は業務効率化が求められ、また、省人化等を目的としたICTの推進を国が進めていることもあり、業界としても人件費減や売上増が見込めるICTの活用（ドローン等）の動きが活発になっている。（建設業）

**【卸売・小売業】**

- ・緊急事態宣言の発令による外出自粛、ワクチン接種の遅れ、感染の長期化などにより、経営が深刻なダメージを受けている。国や行政の支援策により、なんとか1年以上持ちこたえてきたが、非常に厳しい局面を迎えている。感染は、あらゆる場所や場面で発生しており、特定の業種・業態を対象とする自粛要請はやめてほしい。社会全体として、徹底した感染対策を行いながら、社会・経済活動を回すというスタイルを確立しなければ、社会全体が限界に達するだろう。（百貨店・総合スーパー）

**【運輸業】**

- ・社員の高齢化対策、事業承継などが課題です。（一般貨物自動車運送業）





**【サービス業】**

- ・同一労働同一賃金の定めにより、今年の4月から嘱託職員と臨時職員にも諸手当を支給しているため、その分の収益確保が課題となっています。（土木建築サービス業（建築設計業））
- ・「新しい旅のスタイル」事業が始まり、町の宿泊助成との併用が可能となったことから、利用者が増加した。割引助成が終わった後、正規料金となったときに客が離れるのではないかと心配している。終了後の反動が怖い。（宿泊業）
- ・利用者の6割程度が宿泊助成を活用しているが、一定数のリピーターの方は割引関係なく利用。今年のゴールデンウィークは、すでにほとんど予約で満室。これからは札幌の感染状況次第で、こちらの状況も変わると思われる。（宿泊業）
- ・少しずつではあるがお客様が戻ってきているように感じている。6月20日までのツアーは軒並みキャンセルになったが、以降はガーデン巡りツアーで毎日バス2～3台が来るようになってきた。（観光業）

## 2 道内金融機関から見た地域景況感 (4～6月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

## 【直近の景況感】

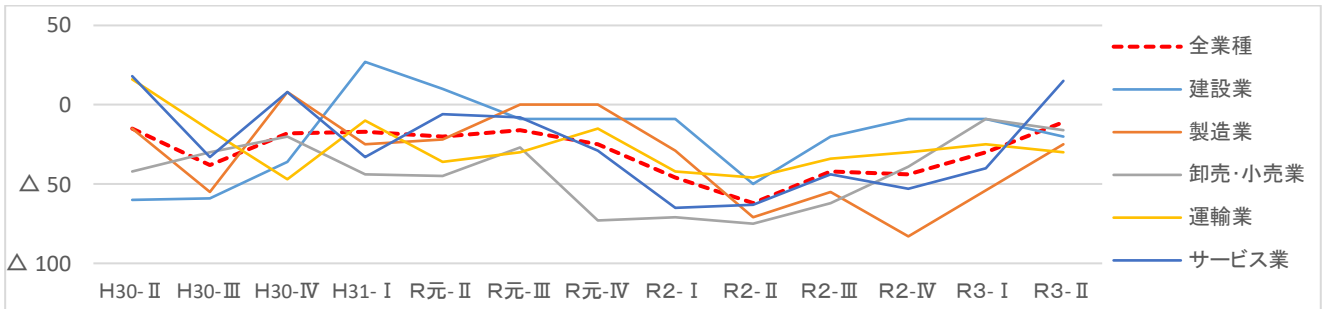
	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				<p>当金庫が実施した2021年4～6月期の地域企業景況動向調査では、地域企業の「業況判断 DI」は▲35 と、前回調査時点の見通し(▲40)からは上振れたものの、前期実績(▲32)を下回った。新型コロナウイルスの影響が長期化する中、感染拡大「第4波」により道内でも感染者数が急増し、5月16日には前年4月に続き2度目となる緊急事態宣言が発令されるなど、依然として収束への見通しが立たないことなどを反映したものとみられる。</p> <p>生産動向については、製造業の「業況判断」は木材・木製品が「良い超」に転化し、全体を牽引した。</p> <p>消費動向については、小売業の「業況判断」は衣服・身回品、飲食料品等が「悪い超」幅を拡大したことを受けて、前期に比べて悪化した。</p>		<p>来期の「業況判断」は▲44 と、今期から9ポイント悪化する見通しとなった。「売上額」、「収益」は今期に比べると「減収減益超」幅を縮小する見通し。この間、「資金繰り」は▲17 と、コロナショックの底といわれる2020年4～6月期の▲22 以来の「苦しい超」幅となる見通し。新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、これまでコロナ資金等で急場を凌いできた企業も資金繰りへの不安を感じていることが窺える。</p>

## 【景況感の推移】

	R元-Ⅲ	R元-Ⅳ	R2-I	R2-II	R2-Ⅲ	R2-Ⅳ	R3-I	R3-II
帯広信用金庫								

(「地域別経済動向調査(お天気マーク)」(北海道経済部調べ))

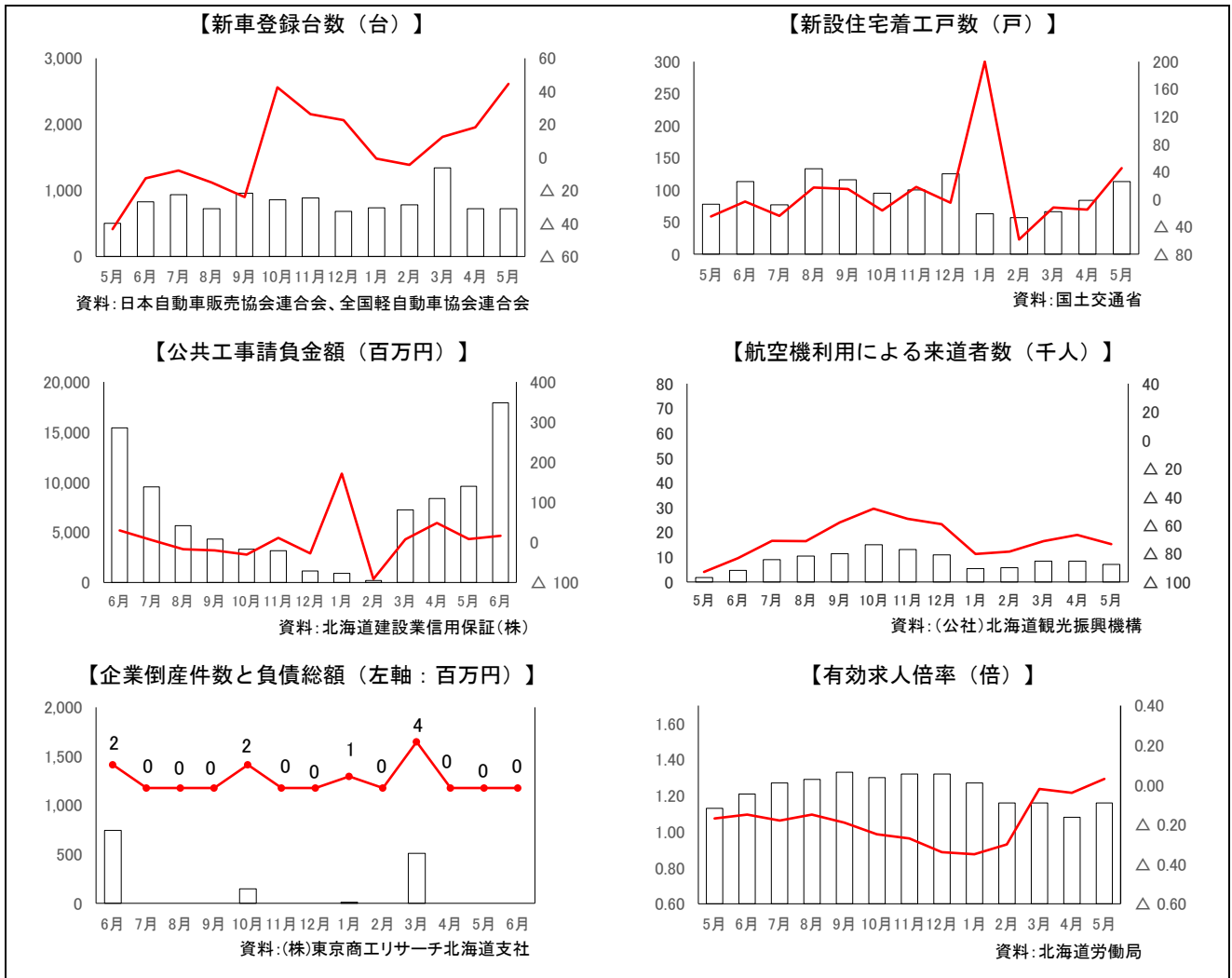
### 3 業種別の業況感BSI



	H30-II	H30-III	H30-IV	H31-I	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II
全業種	△ 15	△ 38	△ 18	△ 17	△ 20	△ 16	△ 25	△ 46	△ 62	△ 42	△ 44	△ 30	△ 11
建設業	△ 60	△ 59	△ 36	27	10	△ 9	△ 9	△ 9	△ 50	△ 20	△ 9	△ 9	△ 20
製造業	△ 15	△ 55	8	△ 25	△ 22	0	0	△ 29	△ 71	△ 55	△ 83	△ 54	△ 25
卸売・小売業	△ 42	△ 30	△ 20	△ 44	△ 45	△ 27	△ 73	△ 71	△ 75	△ 62	△ 39	△ 9	△ 16
運輸業	16	△ 16	△ 47	△ 10	△ 36	△ 30	△ 15	△ 42	△ 46	△ 34	△ 30	△ 25	△ 30
サービス業	18	△ 33	8	△ 33	△ 6	△ 8	△ 29	△ 65	△ 63	△ 44	△ 53	△ 40	15

(「企業経営者意識調査」(北海道経済部調べ))

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)